

申込書記入例

裏面もご参照ください。

●この記入例を参考にしてご記入ください。

黒か青のペンまたはボールペンで記入してください。
(鉛筆、シャープペンシルは使用しないでください。)

誤って記入してしまった場合は、2本線で消して書きなおしてください。

申込者や入居しようとする親族のフリガナ、漢字、生年月日が
正しく記載されていないと、回数の確認ができない場合があります。

申込基準日(平成29年10月20日)現在の
扶養・同居・職業の有無について、
○をしてください。

事業所得者は“その他”に○をしてください。事業
所得者が給与に○をした場合、給与収入と
して計算し、収入基準を超え、受け付けできな
い場合があります。

収入のある方は控除前の年間の総収入
を記入してください。
※収入証明の添付は不要です。但
し、当選後必要となります。

所得のない方は、必ず「0」を記
入してください。生活保護受給
者は「生保」と記入してください。
何も記入されていないと受け付け
できません。

申込者の氏名・住所(部屋番号)・生年
月日・郵便番号・電話番号等を記入
してください。
ここに書かれた住所に送付しますので、
正確にわかりやすく記入してください。

※現住所と書類等の送付先が異なる場合、
分かるように記入してください。

申込者に勤務先がある場合は必ず名称・
所在地・電話番号を記入してください。

希望する地域コードを記入してくだ
さい。

単身者で申し込まれる方は必ず○をして
ください。(世帯申込者は記入不要)

(42ページ参照)

該当する区分を1か所○で囲んでください。
申込住宅によっては、該当しない区分もあり
ますので、確認しうえ、選んでください。
また、2か所以上○があった場合は、優
遇倍率の高い方(特認C組、特認B組の
順)で受け付けします。ご不明な点はお
問合せください。

(64～65ページ参照)

申込者本人を含め、入居しようとする家
族を全員記入してください。

繰越控除がある方は、所得金額から繰越
控除額を引いた額を記載してください。
なお、下段にカッコ書きで繰越控除額を
記載してください。

(79ページ参照)

該当する控除に人数と金額を記入して
ください。
※非婚の母子父子世帯(みなし寡婦・寡
夫世帯)にも、「寡婦(夫)控除」を適用し
ます。

(69ページ参照)

住宅に困っている理由で該当する番号す
べてに必ず○をつけてください。

(11、39ページ参照)

申込基準日(平成29年10月20日)現在、障害者手帳
または障害年金証書を交付されている方は、障
害の種類に○をして、障害の等級を記入してくだ
さい。それ以外の方は、無に○をしてください。
(身=身体障害、精=精神障害、知=知的障害)
ご不明な点がございましたらお問合せください。

第17号様式(第4条第1項)

(申込先)

横浜市長
市営住宅に入居したいので、次のとおり申し込みます。

市営住宅入居申込書

整理番号	募集年月	H29. 10	年	月	日	受付日													
(フリガナ) 申込者氏名	カナガワ ジロウ 神奈川 次郎				性別	①男	2女												
(フリガナ) 現住所	郵便番号	221-0052	電話	2 FAX	045-123-4567	生年月日	明大④平 37年12月5日												
勤務先	名称	〇〇商事(株)	所在地	横浜市中区港町1-1	電話	111-1111													
申込 地域コード	5102	地域コードに誤りがないか、ご確認ください。																	
申込 住宅	単身者でお申込みの方は、次の単身者申込資格の該当するものすべてに○をつけてください。(世帯でお申込みの場合は記入不要)																		
申込 区分	60歳以上 01	身体障害者 02	生活保護受給者 05	引揚者 06	ハシケン 07	精神障害者 08	知的障害者 09	DV被害者 10	中国残留邦人等 11										
募集のしおり」64～65ページの優遇制度の説明を見て、該当するもの1つに必ず○をつけてください。																			
一般組	母 子	父 子	高 齢 者	障 害 者	公 害 病	低 所 得 者	引 揚 者	原 被 爆 者	多 子	ハ シ ケ ン 病	療 養 所 退 所	子 育 て 帯	世 帯 D	被 害 者 V	難 病 患 者 等	世 帯	連 続 6 回 以 上	連 続 5 回	子 育 て 支 援
5000	11	15	16	19	20	21	23	24	25	26	27	28	3100	3200	3226				
申込者及び入居しようとする家族(5名)	(フリガナ)氏名	性別	続柄	生年月日	年齢	障害	扶養の有無	同居別居	職業	所得の種類	年間総収入金額(円)	年間所得金額(円)							
	カナガワ ジロウ 神奈川 次郎	男	本	明大昭平 37年12月5日	54	身(無)精(無)知(無)	有	同居	有	給与年金その他	4,069,888	2,714,400							
	カナガワ ナオミ 神奈川 ナオミ	女	妻	明大昭平 41年1月4日	51	身(無)精(無)知(無)	有	同居	有	給与年金その他	893,600	243,600							
	カナガワ ジュンコ 神奈川 順子	女	子	明大昭平 6年11月15日	22	身(無)精(無)知(無)	有	同居	有	給与年金その他	0	0							
	カナガワ テツヤ 神奈川 哲也	男	子	明大昭平 13年2月4日	16	身(無)精(無)知(無)	有	同居	有	給与年金その他	0	0							
	カナガワ ハルミ 神奈川 晴美	女	子	明大昭平 15年2月28日	14	身(無)精(無)知(無)	有	同居	有	給与年金その他	0	0							
	入居しない	有	氏名	続柄	年齢			合計	4,963,488 (A)			2,958,000							
控除	①親族(本人を除く) 1人:38万円	②老人扶養 老人控除 1人:10万円	③特定扶養 親族等 1人:25万円	④寡婦又は寡夫 1人:27万円 所得27万円未満はその額	⑤障害者 1人:27万円	⑥特別障害者 1人:40万円	(B)控除額の合計 ①から⑥までの合計額です	152 円 50 円 27 円 2290000											
世帯の月収額	(A)年間所得金額の合計 2,958,000				(B)控除額の合計 2,290,000				÷ 12か月 = 55,666 円										
申込者の 在住・在勤期間	①市内在住 10年	②市内在勤 6か月間	現在の 住宅	①民間の 賃貸住宅	②UR・公社等 の賃貸住宅	③市営住宅	④県営住宅	⑤他人に 間借り	⑥その他										
住宅困窮理由 該当するものすべてに○	1 親族以外の 世帯と同居	2 狭い (1人当たり4畳未満)	3 長距離 通勤	4 住宅でない 建物に居住	5 高家賃 (78千円)	6 婚約中	7 立退の要求を 受けている	8 その他											
不備コード	階層 区分	1. 公営原則 3. 改良原則	2. 公営裁量 4. 改良裁量	資格 有・無・要実態	抽選番号	当選順位	入居候補者順位												

(注意) □内のみ記入してください。

※市営住宅申込書により提出していただいた情報は、市営住宅の入居事務
および市営住宅の管理運営業務以外の目的には使用いたしません。

申込者本人の横浜市
内の在住・在勤期間
を記入してください。

現在お住まいの住宅について必ず
○をつけてください。
6その他に○をつけた方は具体的内
容を()に記入してください。

68～79ページの収入計算の方法を読んで、計算して
ください。世帯の月収額が158,000円(裁量階層
214,000円)、また※のついた住宅は114,000円(裁
量階層139,000円)を超えた場合は申込みできません。

(裁量階層については、12、40ページ参照)

申込みの際に間違いやすいケースです。特にご注意ください。

単身者は世帯向住宅へ申込みできません

単身の方は、世帯向住宅には申込みできません。「単身向」のページ(43～54ページ)から地域・住宅を選択してください。

原則、65歳未満の方は高齢者向住宅へ申込みできません

高齢者向住宅への申込みについては申込者および同居者ともに年齢制限があります。

ただし、例外的に60歳から申込み可能な場合もあります。

詳しくは34、48ページをご覧ください。

一定基準以上の収入がある方は、市営住宅へ申込みできません

市営住宅の申込みについては収入制限があり、一定基準以上の収入がある場合は申込みできません。

詳しくは次のページをご覧ください。

収入基準：12、40ページ

収入計算方法：68～79ページ

消印が申込最終日を過ぎている場合は、受け付けできません

募集期間の最終日を申込期限としています。申込期限を過ぎた消印を押された封筒で送付された申込書は、いかなる理由があっても受け付けできません。余裕をもってお申込みください。

また、メール便での申込みは受け付けておりません。必ず郵便局または郵便ポストで投函してください。

特認B組「低額所得者」の優遇を適用される予定の方へ

年金収入のみ、生活保護受給中の方および失業期間・休業期間がある方は該当しません。

また、申込基準日前の1年間に転職した場合は該当しません。

詳しくは65ページをご覧ください。

シルバーハウジング、シニア・りぶいんにお申込みの方へ

シルバーハウジング、シニア・りぶいんには緊急通報システムが設置されており、生活援助員の派遣が週2回、うち1回は安否確認のため、ご自宅へ訪問します。(付随サービスのため、断ることはできません。)

**行政区単位募集、市内全域【住宅指定なし】(単身者可)にお申込みされる場合、住宅を選ぶことはできません。
「階数指定なし」にお申込みされる場合、階数を選ぶことはできません。**